

# 災害対策委員会ニュース 第1号

2025年12月18日発行

発行所 日本ホーリネス教団災害対策委員会

発行人 竹内 義晴

〒189-8512 東京都東村山市廻田町1-30-1

TEL 042-394-7466 FAX 042-392-2877

## 災害対策委員会について

先に能登半島地震災害支援ニュース第7号でもお知らせしましたように、今年度、「災害対策委員会」を常設とすることとなりました。そこで、本ニュースレターも「災害対策委員会ニュース」として再スタートさせていただきます。

災害対策委員会として活動を開始し、後追いになってしましましたが、「災害対策に関する規程」をまとめ、12月2日の教団委員会で承認いただき、施行開始とさせていただいています。規程の詳細につきましては、後日、教団総会資料でも報告させていただきます。それに伴い、従来の「災害見舞金に関する規程」は廃止とし、本規程に吸収させていただきました。

今年度も各所での豪雨災害により、数件の床上浸水などの被害も報告されており、見舞金を支給させていただきました。

万一、被災された場合には、教区長を通して総務局へご報告をお願いいたします。

## 能登半島地震について

能登半島地震の発生から丸2年が過ぎようとしていますが、まだまだ支援と祈りを必要とする状況が続いています。ただ献金につきましてはここで締めさせていただきます。

ボランティア活動と会計報告を以下にまとめさせていただきます。

## ボランティア活動の現状と今後

この夏は、Crash-Japanと町田・相模原教会防災ネットワークと連携し、8/27(水)～29(金)、10/1(水)～3(金)の2回、ボランティア活動をいたしました。2年が経過しようとしていますが、被災住宅の片づけ作業など土木系作業も依然として残っている一方で、仮設住宅での支援作業なども始まっています。

8月のボランティア作業では、新たに開設された穴水ベースの整備作業と門前の仮設住宅でのカフェの支援と二手に分かれての作業、翌日は能登町でのこどもクラブ等が主催する夏祭りの支援を行いました。

10月も同様に、仮設住宅のカフェの支援と、

倒壊した住宅の塀の撤去作業、翌日は閉店する店舗の荷物の搬出作業の支援を行いました。

今後は、徐々に仮設住宅での支援に移っていくと思われ、音楽や何らかの賜物のある人は喜ばれると思われます。たとえば、今回もカフェでのネイルのサービスなども行いましたが喜ばれていました。

今後については、雪の時期は難しいですが、雪解け後は、Crash-Japanなどと連携し支援チームを組めるときには募集をかけたいと思います。また、自分たちでチームを作ってボランティアに行きたいといった要望がありましたら、現地の状況などについて、山田智朗緊急支援対策室長にご相談ください。

## 能登半島地震献金報告

11月末に、能登ヘルプ、ラブイースト、赤十字(被災三県)へ各100万円を献金させていただきました。能登半島地震献金についてはここで締めさせていただき、以下をもって最終報告とさせていただきます。「能登半島地震災害支援対策委員会ニュース 第5号」において中間報告を行っていますので合わせて確認ください。

献金総額(収入) : 8,945,678円

支出:

ボランティア活動費(10回の総計)  
及びブラジルホーリネス教団支援を含む)  
1,529,748円

### 外部献金

能登ヘルプ	2,000,000円
ラブイースト	1,000,000円
石川県への義援金	1,000,000円
赤十字(被災3県へ)	1,000,000円
被災教会への献金	1,000,000円
緊急支援基金へ	1,415,930円

支出総計 8,945,678円

能登半島献金残 0円

今後のボランティア活動の支援は緊急支援基金から援助させていただきます。

なお、引き続き、緊急支援基金への献金は受け付けています。

◎緊急支援基金への献金の送金先

(郵便振替) 00190-4-545635

(口座名) 日本ホーリネス教団緊急支援対策室